

# クリモト 環境自主 行動計画

## 4つの重点取り組み項目

地球環境問題が深刻化する中、当社でもあらゆる活動において環境との調和を一層強化しつつ、持続可能な循環型経済社会の構築に貢献していかなばなりません。この認識の下に、当面する次の4つの重点取り組み項目について環境自主行動計画を策定し、その推進に鋭意努力いたします。

### ◆重点取り組み項目

<b>地球温暖化対策 (CO<sub>2</sub>排出抑制)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後10年間でCO<sub>2</sub>排出量(C換算)の3,300トンC削減             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 省エネ効果</li> <li>2) コークス使用量の削減効果</li> <li>3) 環境機器の供給効果(含 植林効果)</li> </ol> </li> </ul>
<b>ゼロエミッション構想の導入</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● グリーン購入</li> <li>● LCA設計</li> <li>● 環境基準値より余裕の達成</li> <li>● 化学物質による環境負荷の低減</li> <li>● 企業間ネットワークによる廃棄物の再利用</li> </ul>
<b>環境調和型機器の開発</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境負荷低減技術および機器の開発</li> <li>● キュボラCO<sub>2</sub>削減技術開発</li> <li>● 土壌汚染浄化システムの開発</li> </ul>
<b>環境対応企業としての社内教育と広報活動の推進</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社員階層環境教育・社内報「環境コーナー」</li> <li>● 環境講演会、研修会</li> <li>● 環境リーダーの教育・資格取得支援</li> <li>● 環境報告書、環境会計の発表</li> <li>● 環境に優しい「エコベース(超軟式野球)」の導入</li> </ul>

## クリモトとゼロエミッション構想

ゼロエミッション構想とは、1994年に国連大学学長顧問のグンター・パウリ氏が提唱したもので、地球の限りある資源を効率的に利用し、人間が自然環境に与える影響を最小に抑えた循環型生産システムの構築を目指しています。製造過程での「廃棄物ゼロ」だけでなく、材料やエネルギーといったあらゆる資源の投入量を減らし、環境的に健全な物質循環を構築しようという構想であり、クリモトは全体的なゼロエミッションにチャレンジしています。

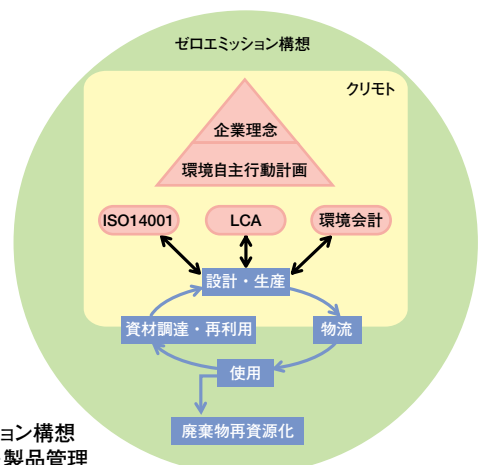
## ゼロエミッション構想による生産・製品管理

### (1)ゼロエミッションによる生産管理

事業所におけるISO14001の運用の中に、環境自主行動計画の重点取り組みの導入を行い、LCA (LCI)\*技法による省エネ・省資源、環境会計によるコスト把握・効果把握に努めます(\*LCA:ライフサイクルアセスメント、LCI:ライフサイクルインベントリー)。

### (2)ゼロエミッションによる製品管理

事業所から出荷される製品はお客様のところで環境負荷削減に貢献できるように配慮します。また、設計時から環境に配慮した製品をデザインするよう、LCA手法を用いて製品のライフサイクルにおいて、どの段階でどのような環境負荷がどの程度発生しているのかを定量的に明らかにしていきます。



◆ゼロエミッション構想による生産・製品管理